

(様式第4号)

第1回 武石地域協議会 会議概要

1 審議会名	武石地域協議会
2 日時	令和7年4月10日(木) 午後7時から午後9時まで
3 会場	武石地域自治センター3階 大会議室
4 出席者	橋詰会長、坂上副会長、大島委員、児玉委員、小林委員、小山委員、佐藤委員、芝野委員、城下委員、中原(夏)委員、樋沢委員、渡辺委員 【欠席委員5名】
5 市側等出席者	酒井武石地域自治センター長、鈴木地域振興課長、竹花市民サービス課長、岩下産業観光課長、小松武石地域教育事務所長、下村地域総合調整幹、田中地域政策担当係長、佐藤地域担当主査、岩井地域政策担当主査、千曲バス株式会社 白鳥取締役営業本部長、横浜交通政策課長、坂口交通政策担当係長、木角交通政策担当主事
6 公開・非公開	☒ 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和7年4月15日

協 議 事 項 等

1 開 会 (副会長)

2 あいさつ (会長、センター長)

3 自己紹介 (委員、職員)

○新任委員の紹介及びあいさつ

- ・武石小学校PTA 平林 みどり委員から渡辺 彩委員に変更

4 報告事項

(1) 地域公共交通利便増進事業の取組について【事前送付資料】(交通政策課説明)

【質疑等】

(委員) 千曲バスの運転手の定年は何歳で、現在の最高齢は何歳か。また、千曲バス以外でアルバイト等で雇用されているのは何歳か。

(千曲バス) 千曲バスでは定年は65歳で、その後は契約社員として70歳までは運転をしてもらっている。現在の最高齢は68歳で、千曲バスを退職後はグループ会社の東信観光バスで社員として働くシステムとなっている。また、運転手の睡眠時無呼吸症候群(SAS)による事故が全国で発生しており、高血圧や糖尿病運転手の管理も含めて健康診断を年2回実施している。運転手は人の命を預かっているため、年齢や体調を考慮して事故を起こす可能性が高い場合は、長期入院や事務所勤務に配置転換する対応をとらざるをえない。そのため、できれば若い人が入社してくれるとありがたいが、魅力ある産業でないことも現実としてあると考えている。

(委員) 二種運転免許取得費用支援について、大型二種は普通二種と比べて取得が難しく、費用は50万円程度かかると思うが、大型二種に対する支援制度は考えていないか。

(交通政策課) タクシーについては、二種免許取得費用支援制度を今回説明した地域公共交通利便増進事業に合わせて令和7年度から3年間実施していきたい。普通二種は取得費用が20万円ほどかかるため、その約半分を支援したい。また、バスについては、大型二種を取得するために概ね50万円かかるが、令和7年度に運行協定支援事業を創設し、赤字分の経費を行政が負担する。よって、免許取得費用も経費に含まれることから、間接的に支援していく形になる。

(委員) 千曲バスに入社すると免許取得支援があるという認識でいいか。

(千曲バス) 千曲バスでは、3年間は勤務してもらう必要があるが、普通免許がない人でも運転手として採用するには会社で免許取得費用を負担している。しかし、入社後に二種免許を取得したが、交通事故を起こす恐れがあると判断し、退職してもらった方もいる。運転手は喉から手が出るほどほしいが、人の命を運ぶため、会社としてしっかりと見極めて採用していく。

(委員) 知らなかったことがたくさん分かってよかった。運転免許取得費用支援はこれから働く運転手を確保できる一つの方法であると感じた。

(会長) 武石地域では、デマンド交通だけでなく路線バスも運行しているか。

(交通政策課) 武石地域には武石線があり、平日のみ上田駅から武石に来るのが3便、武石から上田駅に行くのが2便ある。武石地域の場合は、武石線とデマンド交通を組み合わせることで移動手段の確保をしてもらうことがベターな選択であると思うので、利用をお願いしたい。

(会長) 昔は国鉄があったが、今もあるか。

(交通政策課) 長和町から上田駅までの長久保線を昔の国鉄であるJRバス関東が運行している。

(会長) 明日は武石公民館で路線バスに関する利用者説明会があるので、委員の皆さんもぜひ参加をお願いしたい。

(2) 武石地域 当初予算等における主な施策について【事前資料 1】(事務局説明)

【質疑等】

(委員) 美ヶ原高原整備事業では、美ヶ原高原台上の市有地に所在する、懸案であった民間廃墟物件の解体に向けて進めていくとのことだが、事業費970万円の内訳はどうか。

観光宣伝事業では、新規で美ヶ原高原観光バス運行を実施することによって、従来の松本からの便に加えて上田からの便ができるのは画期的であるが、松本便の実績は把握しているか。また、松本便よりも利用してほしいが、目標は設定するか。

観光施設整備事業では、うつくしの湯整備を実施することによって、財源を捻出してもらい感謝している。まだ着工していない中で、工期は11月までとのことだが、工期延長はあるか。

余里で花見客が通る農業用の歩道で排水工事を実施しており、工期が3月から7月に延長となっていたが、通行止めは続くのか。花咲じいさんクラブに影響がある。

(事務局) 美ヶ原高原整備事業970万円の内訳は、所有権を市のほうに移す手続きのための弁護士費用100万円、アスベスト含有調査とガソリンスタンド土壌汚染調査を含めた解体の実施設計委託費用770万円、建物内に残っている廃棄物を片付ける作業の委託費用100万円である。

美ヶ原高原観光バス運行では、松本市は平成から実施し、6月頃から9月頃までの70日間程度運行しており、1便当たり16人ほどの利用である。上田市は初めて実施するが、過疎対策基金を活用する。予算額370万円を運行日の18日間で割り、1日当たり4往復で割ると5万円/便ほどになる。運賃2千円で1便20人乗ってもらえば、ほぼ採算がとれるため、目標とすれば1便当たり20人と考えている。

うつくしの湯整備は3月に入札し、工期は余裕を見て令和8年1月5日までとされているが、昨日、施工業者と打合せ会議を行い、市としては12月にオープンさせたいと伝え、施工業者には11月完了となる工程を組んでもらうようお願いした。

余里の排水工事は繰越事業となったが、余里及び小沢根自治会長と打合せを行い、花桃の時期は歩行の妨げにならないように休工とする。

(委員) 道の駅美ヶ原高原の駐車場から牛伏山までの木道に穴が開いていた。補修等の管理はどこで行っているか。ヒール等を履いた観光客が怪我をする可能性があるため、できるだけ早く補修したほうがいいと思う。

(事務局) 産業観光課で管理している。昨年度、木道を歩行中に怪我をされた方がいた。毎年、現場確認をして、破損箇所は板の張替えを予算の範囲で実施してきている。予算の問題とともに木道の横に登山道があることから、既に牛伏山の近くは木道を撤去している箇所もあり、必要のないところは今後撤去していきたいと考えている。ただし、美ヶ原高原美術館からの登り口付近は

水路があるため、木道がないと上まで行けないので、残していきたい。

(委員) 埼玉県では下水道管破裂による道路陥没が発生した。昨年、家の近くの水道管が古くて破裂した。武石地域の水道管はいつ頃できたものか。また、他の市町村では水道管を計画的に更新していると聞いているが、武石地域では計画的に更新しているか。

(事務局) 担当課長が所用により欠席のため、詳細は改めて説明したいと思うが、武石地域では平成の始まりの頃に下水道工事を盛んに実施し、併せて老朽化した水道管の布設替えを大規模に実施した。また老朽化した箇所もあるので、計画的に更新している状況であると思う。

(委員) コミュニティ活動支援事業について、片羽自治会では、熱中症対策としてエアコン設置の申請をしたが、当初予算に含まれているか。また、内示はいつ頃か。

(事務局) 共同集会施設の改修補助金として 45 万 7 千円を確保している。また、内示は近いうちに通知する予定である。

(委員) 依田窪病院への財政支援の金額が大きい。上田市で武石地域だけが財政支援しているか。

(事務局) 武石地域だけでなく上田市全体として財政支援している。

5 協議事項

(1) 第 11 回 地域協議会協議内容の確認について【事前資料 2】(事務局説明)

- ・委員からの意見、質問なし

(2) 武石地域の住民自治組織の役割と今後の在り方について

(確認事項③ 合併前後の自治会や地区連合会の活動の変化や課題について)【事前資料 3】

(事務局説明)

< 2 班に分かれてグループ討議 >

6 その他

【質疑等】

(委員) 4 月からうつくしの湯が長期休館となっている。今まで生活の一部、憩いの場として多くの方が利用していたと思う。代替施設として雲溪荘を利用するよう案内があった。しかし、今まで徒歩、自家用車、デマンド交通を利用してうつくしの湯を利用していた方が大勢いたと思う。運転に不慣れな方やデマンド交通を利用していた方にとっては雲溪荘までの移動手段がなく、不満も出ている。そこで、地域振興事業団のマイクロバスやデマンド交通を活用することで、雲溪荘の利用促進につながるのではないか。

(事務局) 4 月からうつくしの湯の代替施設として雲溪荘を日帰り利用してもらっているが、雲溪荘に利用状況を確認したところ、これまで平均で一日当たり約 30 人の利用だったものが、4 月に入ってから一日当たり約 60 人の利用となっており、そのうちうつくしの湯の年間券利用の方が約 30 人と聞いている。浴室が大きいので混雑し過ぎてしまうのは好ましくない。うつくしの湯に通っていた方にとって雲溪荘は遠いという要望もある。4 月下旬に地域振興事業団と打合せをする予定となっており、利用状況や要望等を双方で確認し、最後の 1 年となるため、できるだけ要望に応えられるよう対応していきたい。

(1) 第 2 回 地域協議会の日程について

日時：令和 7 年 5 月 15 日 (木) 午後 7 時～

場所：武石地域総合センター 3 階 大会議室

7 閉 会 (副会長)